

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【公開番号】特開2003-261875(P2003-261875A)

【公開日】平成15年9月19日(2003.9.19)

【出願番号】特願2002-63797(P2002-63797)

【国際特許分類第7版】

C 0 9 K 21/14

C 0 8 F 30/02

C 0 8 J 5/00

C 0 8 L 25/00

C 0 8 L 27/18

C 0 8 L 43/02

C 0 8 L 51/00

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 71/12

C 0 8 L 101/00

【F I】

C 0 9 K 21/14

C 0 8 F 30/02

C 0 8 J 5/00 C E R

C 0 8 J 5/00 C E Z

C 0 8 L 25/00

C 0 8 L 27/18

C 0 8 L 43/02

C 0 8 L 51/00

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 71/12

C 0 8 L 101/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月7日(2005.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

リン含有ビニル系単量体の単独重合体および/またはリン含有ビニル系単量体と(メタ  
)アクリル酸エステル系単量体との共重合体を含有するリン系難燃剤( A )。

【請求項2】

熱可塑性樹脂( B )に、請求項1記載のリン系難燃剤( A )が添加されてなる難燃性樹脂組成物。

【請求項3】

熱可塑性樹脂( B )がポリカーボネート系樹脂、ポリフェニレンエーテル系樹脂、ポリスチレン系樹脂から選ばれた1種以上の樹脂であることを特徴とする請求項2記載の難燃性樹脂組成物。

【請求項4】

請求項 2 又は 3 記載の難燃性樹脂組成物に、更にテトラフルオロエチレン系重合体 (D) が添加されてなる難燃性樹脂組成物。

【請求項 5】

テトラフルオロエチレン系重合体 (D) が、ポリテトラフルオロエチレン (d-1) と、炭素数 1 ~ 4 のアルキル基を有する (メタ) アクリル酸アルキルエステルからなる構成単位を 70 重量 % 以上含む (メタ) アクリル酸アルキルエステル系ポリマー (d-2) とからなるポリテトラフルオロエチレン含有熱可塑性樹脂用改質剤であることを特徴とする請求項 4 記載の難燃性樹脂組成物。

【請求項 6】

請求項 2 ~ 5 の何れか 1 項記載の難燃性樹脂組成物を、射出成形、押出成形または押出プロー成形して得られた成形品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明の要旨は、リン含有ビニル系単量体の単独重合体および / またはリン含有ビニル系単量体と (メタ) アクリル酸エステル系単量体との共重合体を含有するリン系難燃剤 (A) にある。

また、本発明の要旨は熱可塑性樹脂 (B) に、前述したリン系難燃剤 (A) が添加されてなる難燃性樹脂組成物にある。

更に本発明の要旨は、前述の難燃性樹脂組成物を、射出成形、押出成形または押出プロー成形して得られた成形品にある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

難燃剤 (A) に用いられる共重合体は、リン含有ビニル系単量体と (メタ) アクリル酸エステル系単量体との共重合体である。

なお、本発明でいう「(メタ) アクリル」とは、アクリルおよび / またはメタクリルを意味する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

難燃剤（A）において、これらの（メタ）アクリル酸エステル系単量体は、単独で使用してもよく、2種以上を組み合わせて使用してもよい。